

6) 脳梗塞におけるリハビリ実施症例の割合

脳梗塞患者において、早期のリハビリ介入は機能予後を改善します。

注意：病態(血行動態不安定や、意識障害が強い、など)による非処方例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

目標設定：処方割合が低い(例えば5~6割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「脳卒中治療ガイドライン2009」日本脳卒中学会

データの定義

分母：DPCコード6桁が010060「脳梗塞」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でも「脳血管疾患等リハビリテーション料(1)~(3)」を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日~2010年12月30日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の218病院を解析しました。



